

## 富山市地域公共交通網形成計画に係る平成30年度実施事業について

### 公共交通の活性化に向けた基本方針における交通施策について

本計画の各基本方針における、平成30年度の主な交通施策の取り組みは、次のとおりである。

#### 1 基本方針① 公共交通軸の活性化によるコンパクトなまちづくりの実現

##### (1) 鉄軌道活性化計画（地域公共交通網形成計画 142P～）

###### 1) JR高山本線の増便

事業主体：西日本旅客鉄道㈱・富山市

内容：利用者が多く、増便の効果が高い朝夕の時間帯の増便（41本/日のうち7本/日）運行を継続して行う。

###### 2) 富山地方鉄道不二越・上滝線の増便

事業主体：富山地方鉄道㈱

内容：富山地方鉄道㈱が、増発社会実験時と同等の58本/日（平日）の運行を引き続き行う。

###### 3) 新改札の設置等による機能強化

事業主体：あいの風とやま鉄道㈱・富山市

内容：東富山駅東側地区での住居系を主とする開発により、駅周辺居住者の増加が見込まれることから、駅利用者の利便性向上のため、東富山駅東口改札の設置に係る測量・基本設計を行う。

###### 4) 新駅整備

事業主体：あいの風とやま鉄道㈱・国・富山県・富山市

内容：あいの風富山鉄道線「富山～東富山」駅間の下富居外地内県有地の開発にあわせ、鉄道の利便性向上を図るため、新駅の詳細設計を行う。

###### 5) パーク&ライド駐車場の整備

事業主体：富山地方鉄道㈱・富山県・富山市

内容：月岡駅パーク&ライド駐車場の拡張整備を実施する。

## (2) 幹線バス活性化計画（地域公共交通網形成計画 148P～）

### 1) WEB上での経路検索情報の提供

事業主体：富山県・富山市・富山地方鉄道(株)

内容：県外からの来訪者、通勤通学以外の県内利用者に、目的地までのバス情報（経路やダイヤ）が分かりやすく提供できるよう、富山県では、国が策定した「標準的なバス情報フォーマット」により、県内全てのバス情報をオープンデータ化し、大手検索サイトを活用した情報提供を進めることとしている。



大手検索サイトへの情報提供（出典：国土交通省資料）

### 2) パーク&バスライド、サイクル&バスライド

事業主体：富山市・富山地方鉄道(株)

内容：バスの利用圏域の拡大を図るため、バス停周辺にサイクル&バスライド駐輪場を引き続き整備する。平成29年度までに9箇所を整備しており、平成30年度は、2箇所追加で整備する予定。

## 2 基本方針② 地域特性に応じた多様な生活交通の確保

### (1) 生活交通サービス整備方針（地域公共交通網形成計画 154P～）

#### 1) 公営コミュニティバス等の効率的な運行

事業主体：富山市

内容：利用者の少ない大山コミュニティバスについて、駅や施設を日中に巡回する新たな路線を設定し、社会実験を行う。

#### 2) 生活バス路線（民間赤字路線）の維持

事業主体：富山地方鉄道(株)・国・富山県・富山市

内容：市民生活にとって重要な生活バス路線は、国・県・市とともに引き続き支援し、路線の維持に努める。

### 3 基本方針③ 公共交通利用促進

#### (1) 公共交通の利用促進（地域公共交通網形成計画 156P～）

##### 1) モビリティ・マネジメントの計画的実施

事業主体：富山市・富山地方鉄道(株)

内容：公共交通沿線の人口が多いにもかかわらず、公共交通の利用が著しく少ない地区を対象とし、戸別訪問（交通事業者及び市職員が実施）による情報提供やアンケートにより啓発を行う。平成30年度において、効率良く効果を挙げられるモビリティ・マネジメント手法を分析しマニュアル化を行い、次年度以降に交通事業者において独自に営業活動が行えるよう支援する。

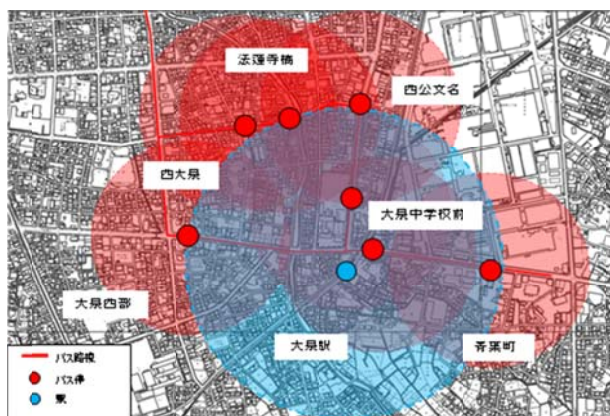
##### 【対象地域】

鉄道：地鉄不二越・上滝線

大泉駅から500m圏域の範囲内

バス：大泉経由不二栄町線

バス停7か所（予定）から300m圏域の範囲内



##### 【参考】

<鉄道>圏域（500m）  
大泉駅圏域人口 3,614 人、平成 28 年度 1 日平均利用人数 131 人  
人口に占める利用率 **3.6%**

<バス>圏域（300m）  
西大泉：圏域人口 3,880 人、人口に占める利用率 **0.2%**(H26.6)  
法蓮寺橋：圏域人口 3,853 人、人口に占める利用率 **0.2%**(H26.6)  
西公文名：圏域人口 3,030 人、人口に占める利用率 **0.1%**(H26.6)  
大泉中学校前：圏域人口 3,643 人、人口に占める利用率 **0.1%**(H26.6)  
大泉駅前：圏域人口 3,388 人、人口に占める利用率 **0.9%**(H26.6)  
青葉町：圏域人口 2,557 人、人口に占める利用率 **0.5%**(H26.6)

##### 2) ICカードの多様な活用（おでかけ定期券、学生証などの拡大）

事業主体：富山地方鉄道(株)・富山市

内容：平成29年度においては、公共交通の利用促進及び中心市街地の活性化を目的とし、市内電車環状線沿線等に立地する専門学校に対し、新たに交通ICカード（えこまいか）の機能を付けた学生証を導入した。平成30年度も全校生徒に行き渡るよう引き続き導入支援を行なう。

##### 【平成30年度 対象校】

No.	学 校 名
1	富山リハビリテーション医療福祉大学校
2	富山調理製菓専門学校
3	富山市立富山外国語専門学校



学生証（富山市立外国語専門学校）

### 3) ICTを活用した公共交通機関のロケーション情報などの配信

事業主体：富山県・富山市・富山地方鉄道㈱

内容：渋滞（特に降雪期）などで定時性の確保が困難なバスを、安心して待つことができるよう、富山県では、県内全域の民営バスと公営バスを網羅したバスロケーションシステムの整備を検討することとしており、今後、交通事業者や公営バス事業者等で構成するワーキンググループにおいて、費用負担やシステム機能、維持管理体制について協議する。